

道徳教育方法研究

第 30 号

2024

I. 研究論文

「考え、議論する道徳」における「礼儀」の指導に関する一考察
—小笠原流礼法を手掛かりとした中学校の指導内容及び指導方法の検討—
柴崎 直人

2. 「事例／範例」を通じた道徳的変容に関する一考察
杉田 浩崇

II. シンポジウム 道徳科は、未来に対する責任に対応できるのか —次期学習指導要領を見据え、道徳科の特質を問いながら—

1. シンポジストの資料
(1) 未来に必要なスキルを「道徳科の授業」でいかに教えるのか？
—エビデンス・ベースドの授業を目指して—
渡辺 弥生

(2) SDGs をめぐる様々な非対称性
—教育学からのアプローチに向けて—
杉田 浩崇

(3) 未来に対する責任に応える道徳科授業
—道徳的諸価値の理解とその活用に向けて—
高宮 正貴

2. シンポジウムのまとめ
山岸 賢一郎
木下 美紀

IV. 課題研究 道徳科の特質を踏まえた現代的な課題に関する指導のあり方 —「生命」に関する実践事例や理論研究から—

1. 課題研究の資料
(1) 道徳科の特質を踏まえた現代的な課題に関する指導のあり方
—「生命」に関する実践事例や理論研究から—
鈴木 賢一

(2) 生命の尊さについて自ら考える態度を育てる道徳教育
—「臓器移植」を題材とした授業実践から生命倫理について考える—
多田 義男

(3) モラルジレンマと倫理学

児玉 聡

2. 課題研究のまとめ

浅部 航太

IV. 会務報告

V. 日本道德教育方法学会 会則

VI. 『道德教育方法研究』投稿規定

VII. 欧文サマリー

編集後記